

人づくりまちづくり研修会②

【趣旨】 津山教育事務所管内の各市町村社会教育委員及び生涯学習・社会教育関係職員等が一堂に会し、講演及び情報交換等を通して、これからの市町村における生涯学習・社会教育の一層の推進を図る。

【日程】 令和7年12月3日（水）13：30～16：00

【講演】 「防災を通じた地域の絆づくり
～西日本豪雨災害から学んだこと～」

講師：川辺復興プロジェクトあるく
代表 榎原 聡美 氏

あの日、浸水した道を車で避難。事前の備えもなく、情報が少ない中で今思えば危険もあった。川辺地区の家屋はほぼ全壊。住民のほとんどが地域を離れざるを得なかった。

住民が集う場として被災3か月後に炊き出しを始めた。交流の場となった。支援物資の受け入れ、サロンの開催等、心の支援も大切にしてきた。地域の中で必要な情報を必要な時に得られるように20名で始めた地域LINEグループも、現在は600名を超えた。防災は地域の「つながり」が重要。



榎原聡美氏 保育士・防災士
西日本豪雨で自宅が全壊。再建と並行して地域の支援活動を始め、現在も23人の「あるく」メンバーとまちづくりや地域防災に取り組まれている。

参加者の感想

- ・地域ぐるみで助け合う防災の重要性を再確認できた。特に「命が助かるだけでは十分でない」という言葉が印象に残った。
- ・あまり必要とっていなかった防災グッズの大切さが伝わってきた。近所の方とこれまで以上につながっておきたい。
- ・（地域の）LINEグループは素晴らしい取組。また、今まで思いもしなかったが、避難所にいる人の気持ちがわかった。
- ・災害が少ないと変な自信を持っていたが、今日のお話をいただき家族と防災について話し合い、備えを進めたい。
- ・つい7年前に起きたことなのに他人事にしている自分を猛省。榎原先生の言葉が心に響いた。

